

安全への取り組み

山正では安全への取り組みとして現場パトロールを強化しました。



時間があるときには出来る限りたくさんの現場に行き、職人さんに注意喚起をして回っています。

特に、高所作業での安全帯着用・使用を重点的にパトロールをしています。

現場でのKYの実施も重要です。毎日同じような内容になりがちですが、きちんとその現場に合った内容のKYが出来ているか確認して回っています。

KY・・・危険予知



危険予知活動表		年月日	業種	定場・仮設・その他
現場名				
工事種目	工事	作業内容	業者名: 株山正 (中部・小牧・豊川・四日市・東北・埼玉)	
職長名				
作業者名				
1R 現状把握	※1日で今日の作業でどんな危険が潜んでいるか全員で考え記入する。2Rは1Rの内容をそれぞれリスクアセスメントし危険のポイントを絞り込む。			
2R 危険のポイント	※2Rで絞り込んだ危険の発生を防止するために、発生を抑制する対策を講ずる。3つの危険ポイントの対策を優先順位の高い順に考案する。			
3R 対策確立	※上記の危険のポイントを元として誰が対策を考案してリスクアセスメントして絞り込む。2Rで考案した対策への対策、実施方法を決定し、確立を確保してから実施を始める。			
4R チーム行動目標	※3Rの対策をチーム行動目標にする。～を～して～しよう(1回実施し確認)			
ワンポイント	【例】周の安定 ヨシ! ワンポイントを3回実施し、周の立ち回しコントロール1回確認			
発生可能性	数値	重大性 (対策の程度)	数値	危険性の評価
発生が頻りに多い (1回/月1回以上)	5	死亡、重傷を伴う災害 (重大)	5	発生×危険 = 25
発生がある (1年に1回以上)	3	休業4日以上災害 (重大)	3	危険×危険 = 15
発生しない (1年1回以上)	1	休業4日未満の災害 (軽微)	1	軽微×危険 = 9-5
		※軽微の場合にはどうなるのか?		危険×軽微 (状況に応じて)
				対策が有効 (必要に応じて)

スリングベルトの交換をしました。足場・建方 両方で使う道具ですが、長く使っていると擦り切れてつり荷の落下につながります。定期的な交換は安全作業には必須です。

次回協議会予定日は **10月27日(火)**です。